

バスケットボール競技合同チームによる大会参加規定について

岡山県高等学校体育連盟バスケットボール部

1. 趣旨

生徒数、競技者数の減少により部員の確保に努力を要する高等学校が増加している。そのため、単独でのチーム編成が困難になった高等学校では、大会参加の機会を失う生徒が増えることが予想される。

そこで、教育活動の一環である運動部活動の目的に鑑み、生徒の大会参加の機会を保障するための救済措置として、合同チームでの大会参加を以下のとおり認めることとする。

なお、救済措置とは、当該校における部員確保の努力を継続することが前提となっているものである。また、競技力強化や勝利至上を目的とした意図的な合同チーム編成を認めるものではなく、合同チームの編成が適正であると認められた場合に限るものとする。

2. 参加資格

- (1) チーム・選手は、各校において認められているバスケットボール部およびその部員であること。
- (2) 岡山県高等学校体育連盟に加盟している部および生徒であること。
- (3) 日本バスケットボール協会登録規定により、登録が完了されているチーム、選手であること。
- (4) 参加可能大会の競技要項により、参加資格を有するものに限る。

3. 編成の条件

- (1) 高体連専門部が承認した単独チームの編成が困難な（選手数5名未満）複数の学校同士によって編成された合同チームとする。
- (2) 同地区（備前・備中・美作）の学校同士に限り合同チーム編成を認める。
- (3) 合同練習が必ず行えること。
- (4) 大会および合同練習に参加の際は、必ず各校より引率責任者（校長の認める当該校の教職員）を派遣すること。

4. 参加可能大会

参加可能な大会は新人優勝大会とする。

5. チーム

- (1) チーム名は各校連名で表示する。
- (2) ユニフォームはいずれかのチームのものに統一されたものを着用すること。
- (3) 合同チームの引率責任者は、それぞれ1名はベンチに入らなければならない。

6. 表彰

- (1) 各校連名のチーム名で表彰する。
- (2) シード権、中国新人優勝大会の出場権は与えられない。

7. 出場手続き

- (1) 参加大会の申し込み締め切り前(約1か月前)に行われる専門部委員会開催日までに、合同チーム参加申請書(様式1)を学校毎に作成し、専門委員長へ提出する。
- (2) 専門部委員会において審議する。承認された場合は、専門部から各校へ合同チーム参加承認書(様式2)を送付する。
- (3) 承認された合同チームは、大会申込みを行う。
- (4) 合同チームで参加する場合は、途中入部した者(上記7(1)に定められた期限以降に入部した者)は出場できない。
- (5) 部員不足への救済処置であるため、申請後に部員が確保された場合は、参加大会の申し込み締め切り前までであれば取り消して単独チームとして出場することができる。
- (6) 参加料を徴収する大会については、当該校で折半の上、負担する。

8. 合同チームがベスト8以上の成績を修めた場合について

春季大会のシード権獲得チームは次のように決定する。

- (1) 合同チームが1位から6位の場合、1位~6位の該当チームの順位は繰り上がる。6位のシード権については、春季大会組合せにおいて7、8位チームで抽選をする。
- (2) 残りのシード権は合同チームが所属する地区より推薦されたチームが獲得する。

9. 令和元年度の合同チーム申請の流れ

年度当初~県総体	各地区で申請希望の有無を確認しておく。 希望チームを把握し、当該チームに申請の流れを理解してもらう。
7月初旬	選手権地区予選申込み 地区理事で希望チームの把握をする。
8月末	選手権地区予選組み合わせ抽選会 抽選会に出席し、口頭で説明、エントリーをする。 地区理事がエントリー確認。 専門委員長が確認。 専門部長が確認。 合同チーム参加申請書(様式1)を作成し提出する。
9月24日	選手権県予選組み合わせ抽選会・専門部委員会 委員会で報告。参加規定を満たしている場合は承認。
10月3日まで	各校へ専門部から承認書(様式2)送付。
10月4日	新人戦地申し込み
11月初旬	新人戦地区抽選
11月下旬~	新人戦参加